

公益財団法人 九州交響楽団
令和5年度〔2023年度〕
事業報告書

I 公益目的事業

概 要

- 2023年度は九州交響楽団にとって創立70周年という節目の年であり、2013年4月以来11年間の長きにわたり九響を育て、九響の音作りに尽力してきた小泉和裕音楽監督のラストシーズンでもあった。このため小泉和裕音楽監督は、2023年4月の第411回定期演奏会を皮切りに3回の定期演奏会のほか、2024年2月の「名曲・午後のオーケストラ」、さらに鹿児島、熊本、東京3都市での70周年記念コンサートの計7公演において熱い演奏を披露し、延べ約8,500人の九響ファンを魅了した。特に20年振りの東京公演となった3月20日のサントリーホールでのラストコンサートでは、渾身の指揮で耳の肥えた東京のクラシックファンを唸らせ、10分以上もカーテンコールが続く名演となった。
- また、2020年2月以来、3年以上も新型コロナ対策に追われてきたが、2023年5月に5類感染症に移行したことから、コロナ禍以前の演奏会スタイルに戻すべく、国や福岡県、福岡市、北九州市からの助成をはじめ、九響後援会各位からの寄付を頂きながら「定期演奏会」「名曲・午後のオーケストラ」「天神でクラシック」「北九州定期演奏会」の4シリーズを中核に、単独公演である「第九公演」や「ニューイヤーコンサート」「九響マタニティコンサート」「九響サマーコンサート」「オーケストラ for キッズ（旧九響・春のこどもコンサート）」などの主催公演において、お客さまの感動を呼び起こすべくプログラミングし、演奏活動を展開した。唯一、8月に予定していた「三大バレエの世界（旧：三大交響曲の夕べ）」公演は、台風6号の襲来により2024年度に延期せざるを得なかった。
- <主催公演>における公演入場者数は、2022年度から更に回復傾向を見せ、入場料収入も前年比12,300千円増となったが、それでもコロナ禍以前の約90%に留まったことから、計画比では14,000千円減の112,000千円に留まった。また、行政や団体、企業、劇場、音楽事務所、学校等から演奏依頼を受けて出演する<依頼公演>は、福岡県市町村振興協会様からの受託事業である「中学生の未来に贈るコンサート」を年度計画の通り42公演実施するとともに、文化庁のアートキャラバン事業や学校巡回公演で6公演を追加受注するなど、当初の計画を11公演上回る88公演を実施したが、前年度の依頼公演数105公演を17公演下回ったことから、契約金収入は234,000千円と、前年度を17,800千円下回る結果となった。また、文化庁の文化芸術振興費補助金による助成金（舞台芸術等総

合支援事業) が前年度の 50,000 千円から 33,000 千円と 17,000 千円減額されたことも響き、経常収益は計画比 62,000 千円減の 891,300 千円となった。

- 一方、事業費については、創立 70 周年記念事業として開催した鹿児島、熊本、東京公演の費用負担増や働き方改革推進のため、一公演あたりの有給休暇取得可能人数を増やしたことによるエキストラ費用の増、更には遠隔地での公演開催による楽器運搬費の増などはあったものの計画比 6,000 千円増の 767,800 千円とほぼ計画通りの支出に抑えることができた。これに管理費 192,700 千円を加えた経常費用は 960,400 千円となり、2023 年度の経常増減額は△69,100 千円と昨年度に続き大変厳しい結果となった。
- コロナ禍の 2021 年度から新たな取組みとして開始した Web を活用してコンサートの模様を生中継するライブ映像配信事業については、2023 年度も 3 公演をセレクトして実施した。特に SNS によるファン投票で配信を決定した第 417 回定期演奏会 (11 月) <巨匠ポリャンスキー 至高のラフマニノフ> は 445 枚の視聴券を売り上げ、全国の視聴者から配信への感謝の声が寄せられるなど大変好評であった。コロナ禍で九響の認知度を上げるべく実験的に実施してきたライブ配信事業ではあったが、3 年間、事業単体で黒字を達成することは出来なかったため 2023 年度を持って一旦中止することとし、演奏活動のネット配信について新たな方策を講じることにした。
- 定期演奏会の聴きどころをわかりやすく解説する「目からウロコ!!のクラシック講座」を刷新し、新たに「目からウロコ!!の九響おんがくアカデミー」として開催時間を 18 時 30 分に変更するとともに楽団員によるミニコンサートを織り込んだところ、会社帰りの音楽ファンの取り込みに成功し、毎回 100 名近い参加者を数えている。さらに公演終了後の楽団員によるお見送りや「名曲・午後のオーケストラ」終演後のお客さまと楽団員の交流の場である「九響・交流カフェ」を再開することで、楽団員とファンの方々の交流が活発となり、集客増の一翼を担っている。

主催公演について

[1] 定期演奏会 11 公演 (入場者数 : 10,559 名)

(1) 定期演奏会 9 公演 (入場者数 : 9,673 名)

(2) 北九州定期演奏会 2 公演 (入場者数 : 886 名)

- 2023 年度は、11 年間という長きに亘り音楽監督を務めた小泉和裕氏最後のシーズンでもあり 3 回の定期演奏会に出演した。第 411 回 (4 月) では、第 2 次世界大戦終結後に作曲されたオネゲル/交響曲 第 3 番「典礼風」と、ベートーヴェンがナポレオンに献呈しようとして取り辞めてしまった、交響曲 第 3 番「英雄」を演奏した。両者は同じ交響曲の“3 番目”で、愚かな戦争や人間全体

の運命を思いながら苦悩し、その心の様を反映している作品でもある。小泉和裕音楽監督は2つの交響曲を深掘し作品の根底に迫る表現を見せた。また、第418回（12月）ではブラームスの代表作でもある「ドイツ・レクイエム」を演奏し、九響合唱団や2名のソリストともに絶妙な息の合ったアンサンブルの妙技も相まってドイツ音楽の真骨頂に迫り喝采を浴びた。音楽監督として最後の定期演奏会となった第419回（3月）は、ベートーヴェン／交響曲 第2番と、R. シュトラウス／交響詩「英雄の生涯」を演奏した。ベートーヴェンの交響曲の中でも初期の古典的様式が強い交響曲 第2番を、一切無駄のないスリムでノーマルな演奏で聴衆を引き付けた。また、「英雄の生涯」では、九響の非常にクオリティの高い演奏能力も際立ち、小泉和裕音楽監督の要求にことごとく最大限の表現力で応えた素晴らしい出来となった。

- 海外からは3名の指揮者を招聘した。第412回（5月）はパスカル・ロフェ氏、第412回（6月）はリオ・クオクマン氏と、九響初登場の二人を迎えたいへんな盛り上がりを見せた。パスカル・ロフェ氏の公演では、フランス音楽を中心に福岡出身の坂本彩・リサ姉妹をソリストに迎え、プーランク／2台のピアノのための協奏曲も披露した。リオ・クオクマン氏のプログラムは全てアメリカ音楽とし、ソリストに世界的なヴァイオリニスト神尾真由子氏を起用、バーバー／ヴァイオリン協奏曲やアダムス、コープランドの珍しい作品も福岡で披露し、聴衆の注目を集め賛辞をいただいた。第417回（11月）のポリャンスキー氏の公演では、ラフマニノフの2作品を披露。牛田智大氏との相性抜群のバガニーニの主題による狂詩曲も見事ながら、後半の交響曲 第2番は信じられないような名演となり、お客様はもとより関係各位から大絶賛され、朝日新聞にも取り上げられ大賛辞をいただいた。
- 演奏会形式でオペラを上演した。第414回（7月）のR. シュトラウス／楽劇「サロメ」は最も演奏することが難しいとされているオペラ。この作品を《演奏会形式》で取り上げ挑戦した。沼尻竜典氏指揮のもと、3つのオーケストラ（神奈川フィル、京都市響、九響）の共同企画という形で開催し、九響がその殿を務めた。数十年前では歌手もオーケストラも、日本人だけでの上演は不可能とされていたこの楽劇「サロメ」を見事に演奏した九響に、聴衆からも沼尻氏からも大絶賛され、改めて九響のポテンシャル、クオリティの高さを証明した。
- 第415回（9月）は、桂冠指揮者秋山和慶氏を迎えた。ソリスト伊藤恵氏とシューマン／ピアノ協奏曲を熱演後、御大ならではのブルックナー／交響曲 第9番をいぶし銀の響きで福岡シンフォニーホールを鳴らし名演となった。
- 第416回（10月）は、キンボー・イシイ氏が再登場した。完璧なプログラムに完璧な演奏ともいえるコンサートとなった。ベルク／ヴァイオリン協奏曲「ある天使の思い出に」では、青木尚佳氏の卓越した技巧も光り圧巻であった。マーラー／交響曲 第4番でも管楽器の妙技が要所要所で際立ち、大好評を博した。九響のオーケストラとしての成長があらゆる個所で見受けられ、お客様からもたくさんのお褒めのお言葉をいただいた。

(1) 定期演奏会 (9 公演)

第 411 回 2023 年 4 月 13 日 (木) 19 時開演 会場：アクロス福岡シンフォニーホール

< 小泉=九響の躍動 二つの「第3番」 >

指揮=小泉 和裕 (音楽監督)

オネゲル/交響曲 第3番 「典礼風」

ベートーヴェン/交響曲 第3番 変ホ長調「英雄」 作品55

第 412 回 2023 年 5 月 19 日 (金) 19 時開演 会場：アクロス福岡シンフォニーホール

< ロフェ初登場！ フランス音楽への誘い >

指揮=パスカル・ロフェ

ピアノ=坂本 彩、坂本 リサ

デュカス/交響詩「魔法使いの弟子」

プーランク/2台のピアノのための協奏曲 ニ短調 FP.61

ストラヴィンスキー/交響詩「ナイチンゲールの歌」

ラヴェル/「ダフニスとクロエ」第2組曲

第 413 回 2023 年 6 月 23 日 (金) 19 時開演 会場：アクロス福岡シンフォニーホール

※ライブ配信あり

< 饒舌なるアメリカン・クラシック >

指揮=リオ・クオクマン

ヴァイオリン=神尾 真由子

アダムズ/ショート・ライド・イン・ア・ファスト・マシン

バーバー/ヴァイオリン協奏曲 作品14

コープランド/交響曲 第3番

第 414 回 2023 年 7 月 27 日 (木) 19 時開演 会場：アクロス福岡シンフォニーホール

< 妖艶そして官能…コンサートオペラで味わい尽くす「サロメ」 >

指揮=沼尻 竜典

[サロメ] 田崎 尚美 [ヘロディアス] 谷口 睦美 [ヘロデ] 福井 敬

[ヨハナーン] 大沼 徹 [ナラボート] 清水 徹太郎

[ヘロディアスの小姓] 山下 裕賀

[ユダヤ人1] 小堀 勇介 [ユダヤ人2] 新海 康仁 [ユダヤ人3] 山本 康寛

[ユダヤ人4] 澤武 紀行 [ユダヤ人5] 加藤 宏隆

[ナザレ人1/カッパドキア人] 大山 大輔 [ナザレ人2] 大川 信之

[兵士1] 大塚 博章 [兵士2] 斉木 健詞 [奴隷] 渡辺 玲美
R. シュトラウス／楽劇「サロメ」作品 54, TrV215 (演奏会形式)

第 415 回 2023 年 9 月 7 日 (木) 19 時開演 会場：アクロス福岡シンフォニーホール

< 名匠・秋山和慶 後期ロマン派の真髄 >

指揮=秋山和慶

ピアノ=伊藤 恵

シューマン／ピアノ協奏曲 イ短調 作品 54

ブルックナー／交響曲 第 9 番 ニ短調 (1894 年初稿・ノヴァーク版)

第 416 回 2023 年 10 月 12 日 (木) 19 時開演 会場：アクロス福岡シンフォニーホール

< 心を揺さぶる「天上の響き」 >

指揮=キンボー・イシイ

ヴァイオリン=青木 尚佳

ソプラノ=砂川 涼子

J. シュトラウスⅡ／ワルツ「フェニックスの羽ばたき」 作品 125

ベルク／ヴァイオリン協奏曲「ある天使の思い出に」

マーラー／交響曲 第 4 番 ト長調

第 417 回 2023 年 11 月 9 日 (木) 19 時開演 会場：アクロス福岡シンフォニーホール

< 巨匠ポリャンスキー 至高のラフマニノフ >

指揮=ヴァレリー・ポリャンスキー

ピアノ=牛田智大

ラフマニノフ／パガニーニの主題による狂詩曲 作品 43

交響曲 第 2 番 ホ短調 作品 27

第 418 回 2023 年 12 月 8 日 (金) 19 時開演 会場：アクロス福岡シンフォニーホール

< 壮大なる人間賛歌 ドイツ・レクイエム >

指揮=小泉 和裕 (音楽監督)

ソプラノ=並河 寿美

バリトン=青山 貴

合唱=九響合唱団、RKB 女声合唱団、九州大学男声合唱団コールアカデミー、
福岡県立福岡工業高等学校グリークラブ、ちくしの混声合唱団、
多目的混声合唱団“Chor Solfa!”、久留米音協合唱団、

声楽アンサンブル Pons Show You ほか
ブラームス／ドイツ・レクイエム 作品 45

第 419 回 2024 年 3 月 15 日（金） 19 時開演 会場：アクロス福岡シンフォニーホール

< 万感胸に迫る 小泉の真骨頂！ > 【九響 70 周年記念演奏会】

指揮＝小泉和裕（音楽監督）

ベートーヴェン／交響曲 第 2 番 ニ長調 作品 36

R. シュトラウス／交響詩「英雄の生涯」 作品 40 TrV190

（2）北九州定期演奏会（2 公演）

第 74 回 2023 年 4 月 30 日（日） 15 時開演 会場：戸畑市民会館大ホール

< ときめきのサクソフォーンと室内オーケストラの愉悦 >

指揮＝太田 弦

サクソフォーン＝須川 展也

ラヴェル／クープランの墓

真島俊夫／シーガル

狭間美帆／サクソフォン・ソナタ 第 1 番「秘色の王国」（管弦楽版）《世界初演》

ビゼー／交響曲 ハ長調

第 75 回 2023 年 9 月 24 日（日） 15 時開演 会場：北九州ソレイユホール

< 本邦初公開！アクション・ペインティング付き「ロメジュリ」 >

指揮&フルート＝パトリック・ガロワ

フルート＝瀬尾 和紀

アクション・ペインティング＝ティナ・オサラ

F. & K. ドップラー（ケイナネン編曲）

／2本のフルートとオーケストラのためのリゴレット幻想曲 作品 38

F. ドップラー／2本のフルートのための協奏曲 ニ短調

プロコフィエフ

／バレエ音楽「ロメオとジュリエット」（抜粋） ※アクション・ペインティング

[2] 巡回演奏会 12 公演（入場者数：12,063 名）

（1）天神でクラシック 音楽 発見！ラボ 4 公演（入場者数：1,948 名）

（2）名曲・午後のオーケストラ 4 公演（入場者数：4,401 名）

（3）その他の巡回演奏会 4 公演（入場者数：5,714 名）

- 2023年度の「天神でクラシック」では、2024年度から首席指揮者に就任した太田弦氏が#1（4月）に初登場、サクソ界の重鎮である須川展也氏と邦人作品を2曲演奏し、聴衆を魅了した。また、ラヴェルの作品やビゼーの交響曲も取り上げ、繊細で美しい演奏を披露し賞賛をいただいた。#2（7月）は、関西で長年活躍している延原武春氏とメンデルスゾーンの名曲を3曲お届けした。序曲「静かな海と楽しい航海」は、演奏頻度は決して高くはないが隠れた名曲として知られ、指揮者としての技量が問われる難曲である。延原氏の絶妙な解釈でメンデルスゾーンの内面が随所で浮き立った。ヴァイオリン協奏曲ではソロコンサートマスター扇谷泰朋氏が見事に弾き切り、聴衆を唸らせた。メインの交響曲 第5番「宗教改革」は作曲家の意図を研究、分析した延原氏の長年の成果が発揮された名演となった。#3（10月）は、成長目覚ましい松村秀明氏が初めての主催公演に挑んだ。これまで「中学生の未来に贈るコンサート」や依頼公演で研鑽を積んできた松村氏が、フランスやロシアの作品を見事に披露した。隅々にまで神経が行き届いた流れるような指揮ぶりは刮目すべきで今後更なる期待が持てる。チェロ独奏の若手上野通明氏は、テクニック、音楽性の全てが高い水準に達しており、今後またいへんな活躍が期待できる。#4（1月）は、毎年恒例のモーツァルトの誕生日に贈る〈続…モーツァルトをあなたに〉では、実力、人気も兼ね備えた鈴木優人氏と若手実力派ピアニストの阪田知樹氏で、最高のモーツァルトをお届けした。ピアノ協奏曲 第20番での阪田氏の演奏は、ピアノを弾くのがこれほど容易なのかと思わせる卓越した技術と、伝えたいことが全て伝えられる音楽的な表現は聴衆を虜にした。また、40分ほど要するセレナード 第9番「ポストホルン」は、鈴木氏の工夫や解釈、アイディア等で常に聴衆を集中、夢中にさせ楽しませた。鈴木氏自身が編曲した〈「フィガロの結婚」メドレー〉も、聴いたことがある色々なメロディが次から次へと表れて、とても聴きやすく楽しめて、モーツァルトを聴くための入門編とも言えるアレンジに聴衆も興味津々であった。
- 2015年度から開催している「名曲・午後のオーケストラ」。第33回（5月）は活躍が目覚ましい川瀬賢太郎氏が登場。前半はソプラノ高野百合絵氏、テノール宮里直樹氏、バリトン今井俊輔氏を招き、世界で最も上演回数が多いと言われる、ビゼー／歌劇「カルメン」より有名個所を抜粋したハイライト特集とした。若干の演出も施されストーリー性もあり、華麗で表現力ある歌手たちの歌声も相まって聴衆を魅了させた。後半は、スペインの作曲家ファリャが民話を基に作曲したバレエ音楽「三角帽子」を演奏した。川瀬氏の抜群のリードのもと、色彩感溢れるラテン的な躍動感のある演奏となり喝采を浴びた。第34回（7月）は、名誉客演指揮者の小林研一郎氏が登場。上原彩子氏を迎え、チャイコフスキー／ピアノ協奏曲 第1番をダイナミックな演奏で披露し観客を沸かせた。メインには小林氏が得意とするムソルグスキー（ラヴェル編）／組曲「展覧会の絵」を演奏した。情熱的で個性的、凄さ抜群のコバケン節は健在で、多くのファンを魅了し感動させた。第35回（9月）は、コロナ禍の入国制限の影響により2021年9月に実現できなかったプログラムを再演。フルーティストとして名高いパトリック・ガロワ氏と北九州市出身のフルーティスト瀬尾和紀氏の師弟共演で2本

のフルートと管弦楽のための2作品を演奏し聴衆から喝采を浴びた。後半は、美術家ティナ・オサラ氏と共演し、ガロワ氏の指揮するプロコフィエフ／バレエ音楽「ロミオとジュリエット」（抜粋）にのせて、ダイナミックなアクション・ペインティングが披露され、多くの聴衆から賞賛と感嘆の言葉をいただいた。第36回（2月）では、小泉和裕氏が登場し音楽監督としては最後になる「名曲・午後のオーケストラ」を指揮した。不動の人気を誇るベートーヴェン／交響曲 第6番「田園」では、1楽章から5楽章まで途切れることのない流れるような演奏で、この時代の素朴な田園風景を描写した。後半には、レスピーギのローマ三部作からセレクトした、交響詩「ローマの噴水」と「ローマの松」が華やかにダイナミックに演奏され、聴衆から大絶賛された。

- 2023年度の「第九公演」は、今や日本を代表する指揮者の一人である広上淳一氏のもと、実力派揃いのソリスト達と九響合唱団他地元合唱団（福岡公演）や北九州市民フロイデコール（北九州公演）がコロナ禍よりも合唱人数を大幅に増やして130名ほどの合唱で不朽の人間賛歌を高らかに歌い上げた。「ニューイヤークンサート2024」では、北九州市出身で2024年4月より九響ミュージックアドバイザーに就任するNHK交響楽団特別コンサートマスター篠崎史紀氏が指揮とヴァイオリンソロで、J. シュトラウスやクライスラーの名曲を披露し、新年の幕開けに相応しい華やかなコンサートになった。「第九公演」、「ニューイヤークンサート」とも同プログラムで、福岡と北九州で開催した。

(1) 天神でクラシック 音楽 発見！ラボ（4回）

#1 2023年4月29日（土・祝） 15時開演 会場：FFGホール

< ときめきのサクソフォーンと室内オーケストラの愉悦 >

指揮＝太田 弦

サクソフォーン＝須川 展也

ラヴェル／クープランの墓

真島俊夫／シーガル

狭間美帆／サクソフォン・ソナタ 第1番「秘色の王国」（管弦楽版）《世界初演》

ビゼー／交響曲 ハ長調

#2 2023年7月16日（日） 15時開演 会場：FFGホール

< バロックの巨匠が誘うメンデルスゾーン >

指揮＝延原 武春

ヴァイオリン＝扇谷 泰朋

メンデルスゾーン／序曲「静かな海と楽しい航海」 作品27

ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 作品64

交響曲 第5番 ニ短調 「宗教改革」 作品107

3 2023年11月26日(日) 15時開演 会場：F F Gホール

< 時を超える輝き きらめきの音楽世界 >

指揮=松村 秀明

チェロ=上野 通明

お話=奥田 佳道

イベール/ディヴェルティメント

カバレフスキー/チェロ協奏曲 第1番 ト短調 作品49

ルーセル/小管弦楽のためのコンセール 作品34

カバレフスキー/組曲「道化師」作品26

4 2024年1月27日(土) 15時開演 会場：F F Gホール

< 続…モーツァルトをあなたに Vol.17 >

指揮=鈴木 優人

ピアノ=阪田 知樹

モーツァルト/歌劇「フィガロの結婚」 K.492 序曲

ピアノ協奏曲 第20番 ニ短調 K.466

セレナード 第9番 ニ長調 「ポストホルン」 K.320

モーツァルト(鈴木優人編曲)/フィガロの誕生日 〈「フィガロの結婚」メドレー〉

(2) 名曲・午後のオーケストラ (4公演)

第33回 2023年5月27日(土) 14時開演 会場：アクロス福岡シンフォニーホール

< 魅惑のスペイン 情熱のメロディー >

指揮=川瀬 賢太郎

[カルメン] 高野 百合絵 [ドン・ホセ] 宮里 直樹 [エスカミーリョ] 今井 俊輔

ビゼー/歌劇「カルメン」ハイライト

ファリャ/バレエ音楽「三角帽子」 第1組曲・第2組曲

第34回 2023年7月1日(土) 14時開演 会場：アクロス福岡シンフォニーホール

< 炎のコバケン「展覧会の絵」 >

指揮=小林研一郎

ピアノ=上原 彩子

チャイコフスキー/ピアノ協奏曲 第1番 変ロ短調 作品23

ムソルグスキー(ラヴェル編)/組曲「展覧会の絵」

第35回 2023年9月23日(土・祝) 14時開演 会場:アクロス福岡シンフォニーホール

< 本邦初公開! アクション・ペインティング付き「ロメジュリ」 >

指揮&フルート=パトリック・ガロワ

フルート=瀬尾 和紀

アクション・ペインティング=ティナ・オサラ

F. & K. ドップラー (ケイナネン編曲)

／2本のフルートとオーケストラのためのリゴレット幻想曲 作品38

F. ドップラー／2本のフルートのための協奏曲 ニ短調

プロコフィエフ

／バレエ音楽「ロメオとジュリエット」(抜粋) ※アクション・ペインティング

第36回 2024年2月24日(土) 14時開演 会場:アクロス福岡シンフォニーホール

※ライブ配信あり

< 小泉と旅する音の風景 >

指揮=小泉 和裕 (音楽監督)

ベートーヴェン／交響曲 第6番 へ長調 「田園」 作品68

レスピーギ／交響詩「ローマの噴水」 P.106

交響詩「ローマの松」 P.141

(3) その他の巡回演奏会 (4公演)

福岡巡回演奏会 <第九公演(福岡)>

2023年12月23日(土) 15時開演 会場:アクロス福岡シンフォニーホール

指揮=広上 淳一

ソプラノ=竹下 みず穂 アルト=但馬 由香

テノール=工藤 和真 バリトン=池内 響

合唱=九響合唱団、RKB女声合唱団、九州大学男声合唱団コールアカデミー、

福岡県立福岡工業高等学校グリークラブ、ちくしの混声合唱団、

多目的混声合唱団“Chor Solfa!”、久留米音協合唱団、

声楽アンサンブル Pons Show You ほか

ベートーヴェン／交響曲 第9番 ニ短調 「合唱付き」

北九州巡回演奏会 <第九公演(北九州)>

2023年12月24日(日) 15時開演 会場:北九州ソレイユホール

指揮=広上 淳一

ソプラノ＝竹下 みず穂 アルト＝但馬 由香

テノール＝工藤 和真 バリトン＝池内 響

合唱＝北九州市民フロイデコール

ベートーヴェン／交響曲 第9番 ニ短調 「合唱付き」

福岡巡回演奏会 <ニューイヤーコンサート2024 (福岡)>

2024年1月7日(日) 15時開演 会場：アクロス福岡シンフォニーホール

指揮&ヴァイオリン＝篠崎 史紀 ★＝ヴァイオリン・ソロ

レハール／喜歌劇「メリーウィドウ」より ワルツ「舞踏会の妖精たち」

ランナー／ワルツ「シェーンブルンの人々」

ヘルメスベルガーⅡ／ギャロップ「小さな広告」

J.シュトラウスⅠ／ヴェネツィア人のギャロップ

クライスラー／美しきロスマリン★、愛の悲しみ★、愛の喜び★

ヨゼフ・シュトラウス／ワルツ「天体の音楽」

J.シュトラウスⅡ／ワルツ「南国のバラ」、シャンペン・ポルカ、宝のワルツ、
ポルカ「観光列車」、「美しく青きドナウ」

北九州巡回演奏会 <ニューイヤーコンサート2024 (北九州)>

2024年1月8日(月・祝) 15時開演 会場：北九州ソレイユホール

指揮&ヴァイオリン＝篠崎 史紀 ★＝ヴァイオリン・ソロ

レハール／喜歌劇「メリーウィドウ」より ワルツ「舞踏会の妖精たち」

ランナー／ワルツ「シェーンブルンの人々」

ヘルメスベルガーⅡ／ギャロップ「小さな広告」

J.シュトラウスⅠ／ヴェネツィア人のギャロップ

クライスラー／美しきロスマリン★、愛の悲しみ★、愛の喜び★

ヨゼフ・シュトラウス／ワルツ「天体の音楽」

J.シュトラウスⅡ／ワルツ「南国のバラ」、シャンペン・ポルカ、宝のワルツ、
J.シュトラウスⅡ／ポルカ「観光列車」、「美しく青きドナウ」

[3] 特別演奏会 11公演 (入場者数：10,677名)

(1) <マタニティコンサート2023> 2公演 (入場者数：1,167名)

(2) <サンクスコンサート> 1公演 (入場者数：421名) ※コンサート会員限定

(3) <サマーコンサート2023> 2公演 (入場者数：1,098名)

(4) <アクロス一万人コンサート> 2公演 (入場者数：2,591名)

(5) <70周年記念演奏会> 3公演 (入場者数: 3,658名)

(6) <オーケストラ for キッズ> 1公演 (入場者数: 1,742名)

- <マタニティコンサート 2023>は、2022年度からの新企画として開催している、妊婦さんだけでなく0歳児から来場できるママとパパに優しいコンサート。赤ちゃんが泣いても動き回っても大丈夫な会場として多目的に活用できるアクロス福岡イベントホールを使用し、普段コンサートに行きたくても行けないと思っている赤ちゃん連れの方々にベビーカーのまま入場できる座席や自由に座れるフリースペースを設定するほか、ロビーにはおむつ交換スペースや授乳スペース、助産師相談コーナーなどを設け安心して来場いただける環境を整え開催した。近年幅広く活躍している指揮者辻博之氏を迎え、楽しいお話を交えながら誰もが聞いたことのある楽曲を演奏した。また、福岡県助産師協会会長佐藤香代氏を迎え、演奏間のトークで会場のママやパパにアドバイスや応援メッセージを伝え、たくさんの赤ちゃん連れご夫婦や妊婦さんを元気づけた。
- <サンクスコンサート>は、定期会員、天クラ会員、名曲会員のうちダブルで会員になっていただいている方々をお招きする特別なコンサート。今回も指揮者を置かないスタイルで、当楽団のソロコンサートマスター扇谷泰朋氏のリーダーシップのもと、オーケストラメンバー一人ひとりの自発的なコミュニケーションによりモーツァルトの小品や交響曲 第39番の名曲を演奏し、皆さまに特別感を味わっていただき喜んでいただいた。
- <サマーコンサート 2023>はステージ上のスクリーンに映し出されたアニメキャラクター達の動きにオーケストラ演奏をシンクロさせたライブ感あふれるステージをファミリーで楽しむ企画。幅広いジャンルで活躍する指揮者竹本泰蔵氏、映像とのシンクロ演奏に定評があるピアニスト CHIAKI 氏のコンビで、たくさんの子供たちや家族に夢の世界を堪能してもらった。
- <三大バレエの夕べ>は、<三大交響曲の夕べ>に継いでの企画。チャイコフスキーの三大バレエでもある「白鳥の湖」、「くるみ割り人形」、「眠りの森の美女」を、前常任指揮者の山下一史氏を迎え黒木瞳氏のナレーション付きで演奏する予定だったが、台風接近より中止を余儀なくされ、2024年4月に延期となった。
- 「舞台芸術感動体験事業コンサート (アクロス一万人コンサート)」は、小・中学生にクラシック音楽の魅力を知っていただくことを目的として、毎年、福岡県教育委員会、福岡県教育文化奨学財団、アクロス福岡と共同で開催しているコンサート。2022年度はコロナの影響により参加校数は伸びなかったが2023年度は徐々に回復してきている。たいへん重要なコンサートとして認識しているので、九響としても今後最大限の協力、素晴らしい演奏を届けて行きたい。
- <70周年記念演奏会>は、九州各県での主催公演開催を目指す取組みとして2021年度の佐賀、2022

年度の長崎に続いて実施。九響の実力、魅力を九州各地域や全国的にも伝えることで、オーケストラとしての更なる向上、芸術文化の発展に寄与することも視野に入れている。指揮は全て九響音楽監督としての集大成で臨んだ小泉和裕氏。鹿児島、熊本ではベートーヴェン「田園」「運命」のオーケストラ音楽の基本的作品を披露し、大好評を得た。また、東京公演では3月定期と同プログラムのベートーヴェン交響曲第2番とR. シュトラウス/交響詩「英雄の生涯」で臨み、九響の実力を遺憾なく発揮し、多くの関係各位から大絶賛された。またこの公演はNHK「クラシック音楽館」で収録され6月に放送予定。

- 「オーケストラ for キッズ」は、2013年度から続けてきた「親と子のためのコンサート」を2022年からリニューアルしたもの。今回は、開演前のバックステージツアーや子供たちによる影アナ体験で、オーケストラの本番当日の準備や流れも身近に感じ取ってもらい、違う角度からも興味を持ってもらうよう試みた。演奏では、福岡市出身の平川範幸氏の指揮と長崎市出身のNHK「おかあさんといっしょ」にも出演している歌のおねえさん西けいこ氏による歌とお話で、楽しく進められた。楽器紹介曲の演奏や指揮者体験コーナーを設けて会場を盛り上げた。また、今回は大賀薬局の協賛により会場にオーガマンも登場するなど子どもたちも大喜びのコンサートとなった。メイン曲には本格的なストラヴィンスキー/バレエ音楽「火の鳥」組曲を演奏し、会場からは大きな拍手喝采で幕を閉じた。

(1) 九響マタニティコンサート2023 (2回)

2023年4月23日(日) 11時開演/14時30分開演 会場: アクロス福岡イベントホール

< ママとパパとベビーに贈る「0歳からのオーケストラ」 >

指揮&お話=辻 博之

スッペ/喜歌劇「軽騎兵」序曲

マスカーニ/歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」より間奏曲

ドッド/ミッキー・マウス・マーチ

アンダーソン/シンコペーテッド・クロック

ビゼー/歌劇「カルメン」より 前奏曲

ヴィヴァルディ/「四季」より 春 第1楽章

スメタナ/連作交響詩「わが祖国」よりヴルタヴァ (モルダウ)

(2) サンクス・コンサート (コンサート会員限定)

2023年6月3日(土) 15時開演 会場: FFGホール

コンサートマスター=扇谷 泰朋

司会=佐々木理恵 (NHK「おはよう九州沖縄」キャスター)

モーツァルト/ディヴェルティメント第1番 変ホ長調 K.136

ピアノと管楽器のための五重奏曲 変ホ長調 K. 452 (ピアノ=林紋子)
交響曲 第39番 変ホ長調 K. 543

(3) 九響サマーコンサート2023「アニメ・コンチェルト」(2回)

2023年8月19日(土) 14時開演 会場:福岡市立東市民センター(なみきホール)

20日(日) 14時開演 会場:福岡市立南市民センター

指揮=竹本 泰蔵

ピアノ=CHIAKI

進行=森田 真奈美

L. イエッセル (M. グレード編) / おもちやの兵隊の行進

久石譲 / 「天空の城ラピュタ」より 空から降ってきた少女

「魔女の宅急便」より 海に見える街

となりのトトロ

ハウルの動く城

A. メンケン / 映画「アラジン」組曲

トムとジェリー「ただいまお昼寝中」* [演奏曲] S. ブラッドリー / ただいまお昼寝中

こぶたのポルカ* [演奏曲] J. ブラームス / ハンガリー舞曲より

トムとジェリー「ワルツの王様」* [演奏曲] J. シュトラウスⅡ / 「美しく青きドナウ」ほか

*=アニメ映像付き

(4) 舞台芸術感動体験事業コンサート(アクロス一万人コンサート)(2回)

2023年11月29日(水) 11時開演/13時45分開演 会場:アクロス福岡シンフォニーホール

指揮=杉本 優

ヘンデル / 水上の音楽 第2組曲 ニ長調 HWV349 より 第2曲「アラ・ホーンパイプ」

[楽器解説コーナー] ボブ佐久間 / インストゥルメンタル・ブルース

J. シュトラウスⅡ / ワルツ「美しく青きドナウ」

[指揮者体験コーナー] ブラームス / ハンガリー舞曲第5番

ブラームス / ハンガリー舞曲第5番 ト短調

スメタナ / 交響詩「わが祖国」より ヴルタヴァ (モルダウ)

ドヴォルザーク / 森の静けさ op. 68-5, B. 182 (チェロソロ=山本直輝)

共同主催: 舞台芸術感動体験事業実行委員会

(福岡県教育委員会、公益財団法人福岡県教育文化奨学財団
公益財団法人アクロス福岡、公益財団法人九州交響楽団)

参加校：福岡市立警固小学校、堅粕小学校、七隈小学校、春吉小学校、勝馬小学校、長尾中学校、東箱崎小学校、博多中学校、福岡きぼう中学校、福浜小学校、平尾小学校、当仁小学校、北九州市立香月中学校、折尾中学校、筒井小学校、白野江小学校、大野城市立大和小学校、筑紫野市立二日市小学校、宇美町立宇美東小学校、岡垣町立戸切小学校、朝倉市立朝倉東小学校、みやま市立桜舞館小学校、八女市立三河小学校、筑南小学校、八幡小学校、星野小学校、忠見小学校、添田町立落合小学校、吉富町外一市中学校組合立吉富中学校、福岡教育大学付属久留米小学校、筑紫女学園中学校

(31校、入場者数2,591名)

(5) 70周年記念演奏会 (3回)

鹿児島公演 2023年3月9日(土) 15時開演 会場：川商ホール(鹿児島市民文化ホール)

熊本公演 2023年3月10日(日) 15時開演 会場：市民会館シアーズホーム夢ホール(熊本市民会館)

< 丘巻、小泉=九響 迫真のベートーヴェン >

指揮=小泉 和裕(音楽監督)

ベートーヴェン/交響曲 第6番 へ長調「田園」 作品68

交響曲 第5番 ハ短調「運命」 作品67

東京公演 2023年3月20日(水・祝) 15時開演 会場：サントリーホール(大ホール)

< 九響の躍動 いま感動の頂点へ >

指揮=小泉 和裕(音楽監督)

ベートーヴェン/交響曲 第2番 ニ長調 作品36

R. シュトラウス/交響詩「英雄の生涯」 作品40 TrV190

(6) オーケストラ for キッズ **新企画**

2024年3月30日(土) 14時開演 会場：アクロス福岡シンフォニーホール

指揮=平川 範幸

歌&司会=西 けいこ ★=歌

アンダーソン/ファドル・ファドル

(楽器紹介) ボブ佐久間/インストゥルメンタル・ブルース

アンダーソン/プリンク・プランク・プルンク

チャイコフスキー/バレエ音楽「白鳥の湖」より 4羽の白鳥の踊り

デュカス/バレエ音楽「ラ・ペリ」より ファンファーレ

アンダーソン/タイプライター

ロジャース/映画「サウンド・オブ・ミュージック」メドレー ★

ビゼー/歌劇「カルメン」より レアドール

J. シュトラウス I/ラテツキー行進曲

ストラヴィンスキー／バレエ組曲「火の鳥」(1919年版)より

魔王カスチエイの凶悪な踊り、子守歌、終曲

[4] 移動音楽教室 開催実績なし

依頼公演について

[5] 依頼演奏会 125 公演 (オーケストラ公演 88 回／室内楽公演 37 回)

- 2023 年度の依頼公演については、「中学生の未来に贈るコンサート」が 2021 年度から始まった新たな契約 (3 年間) の 3 年目として 42 公演を実施したほか、全依頼演奏会の回数は 88 公演と、コロナ禍以前の水準に戻った。2023 年度も文化庁「舞台芸術等総合支援事業 (学校巡回公演)」に採択されたことにより、10 月と 11 月に 7 校 8 公演を九州南部エリア (沖縄県・宮崎県・鹿児島県) の小中学校で実施したほか、文化庁令和 4 年度補正予算による「統括団体による文化芸術需要回復・地域活性化事業 (アートキャラバン 2)」を 4 県 (佐賀県・熊本県・長崎県・岡山県) で 5 公演を開催するなど、精力的に依頼演奏会の活動を展開した。
- 室内楽演奏は、行政や団体、企業からの依頼で 37 公演開催した。福岡市議会議場をはじめとする行政施設や学校、テレビ番組内、屋外特設ステージなど演奏場所は様々である。
- 依頼演奏会の詳細は以下のとおり。

(オーケストラ公演)

	<開催地>	<主 催>	<内 容>
2023 年			
5 月 3 日(水・祝)	福岡	ロームミュージックファンデーション	財団設立 30 周年記念公演
5 月 5 日(金・祝)	熊本	ビルボードジャパン	玉置浩二コンサート
5 月 28 日(日)	飯塚	イイヅカコスモスコモン	飯塚公演
5 月 31 日(水)	吉富	福岡県市町村振興協会	中学生公演 (2 公演)
6 月 8 日(木)	八女	福岡県市町村振興協会	中学生公演
6 月 13 日(火)	長崎県佐世保	佐世保市教育委員会	子ども音楽鑑賞会 (2 公演)
6 月 16 日(金)	筑紫野	福岡県市町村振興協会	中学生公演 (2 公演)
6 月 26 日(月)	筑紫野	福岡県市町村振興協会	中学生公演 (2 公演)
6 月 27 日(火)	久留米	福岡県市町村振興協会	中学生公演 (2 公演)
6 月 28 日(水)	久留米	福岡県市町村振興協会	中学生公演 (2 公演)
7 月 3 日(月)	筑紫野	福岡県市町村振興協会	中学生公演
7 月 4 日(火)	古賀	福岡県市町村振興協会	中学生公演 (2 公演)

	<開催地>	<主催>	<内容>
2023年			
7月5日(水)	太宰府	福岡県市町村振興協会	中学生公演(2公演)
7月6日(木)	筑紫野	福岡県市町村振興協会	中学生公演(2公演)
7月7日(金)	みやこ	福岡県市町村振興協会	中学生公演
7月11日(火)	飯塚	福岡県市町村振興協会	中学生公演
7月12日(水)	筑紫野	福岡県市町村振興協会	中学生公演(2公演)
7月18日(火)	熊本	熊本県立劇場	声楽とオーケストラの夕べ
7月23日(日)	福岡	ビルボードジャパン	山崎育三郎コンサート
8月5日(土)	筑前	筑前町めくばーる	めくばーるコンサート
8月13日(日)	久留米	久留米文化振興会	ドラゴンクエストコンサート
8月16日(水)	佐賀	文化庁	アートキャラバン事業
8月17日(木)	熊本	文化庁	アートキャラバン事業
8月22日(火)	福岡	ヤマトホールディングス	音楽宅急便
8月26日(土)	北九州	プロマックス	銀河鉄道999 シネマ・コンサート
8月29日(火)	筑後	福岡県市町村振興協会	中学生公演(2公演)
8月30日(水)	太宰府	福岡県市町村振興協会	中学生公演(2公演)
8月31日(木)	久留米	福岡県市町村振興協会	中学生公演(2公演)
9月1日(金)	城島	福岡県市町村振興協会	中学生公演(2公演)
9月12日(火)	篠栗	福岡県市町村振興協会	中学生公演(2公演)
9月14日(木)	久留米	福岡県市町村振興協会	中学生公演(2公演)
9月17日(日)	長崎県対馬	文化庁	アートキャラバン事業
9月18日(月・祝)	長崎県対馬	文化庁	アートキャラバン事業
9月26日(火)	太宰府	福岡県市町村振興協会	中学生公演
9月27日(水)	太宰府	福岡県市町村振興協会	中学生公演
9月28日(木)	須恵	福岡県市町村振興協会	中学生公演(2公演)
9月29日(金)	須恵	福岡県市町村振興協会	中学生公演
10月4日(水)	筑紫野	福岡県市町村振興協会	中学生公演(2公演)
10月5日(木)	古賀	福岡県市町村振興協会	中学生公演
10月7日(土)	福岡	アクロス福岡	クラシックふえすた
10月17日(火)	沖縄県沖縄	文化庁	巡回公演事業(2公演)
10月18日(水)	沖縄県糸満	文化庁	巡回公演事業
10月22日(日)	福岡	BSフジ	ロマンシング サ・ガ
10月27日(金)	福岡	TKC九州会	TKC九州会創立50周年
10月30日(月)	宮崎県美郷	文化庁	巡回公演事業
10月31日(火)	宮崎県日南	文化庁	巡回公演事業
11月3日(金・祝)	福岡	ジャパン・アーツ	横山幸雄4大ピアノ協奏曲

	<開催地>	<主催>	<内容>
2023年			
11月13日(月)	鹿児島	文化庁	巡回公演事業
11月14日(火)	鹿児島県枕崎	文化庁	巡回公演事業
11月15日(水)	鹿児島県鹿屋	文化庁	巡回公演事業
11月19日(日)	福岡	ビルボードジャパン	倉木麻衣コンサート
12月3日(日)	朝倉	ピーポート甘木	朝倉公演
12月14日(木)	福岡	西日本シティ銀行	NCB音楽祭
12月20日(水)	岡山	文化庁	アートキャラバン事業
2024年			
1月5日(金)	長崎	十八親和銀行	ニューイヤーコンサート
1月9日(火)	長崎県佐世保	十八親和銀行	ニューイヤーコンサート
1月11日(木)	熊本	熊本銀行	ニューイヤーコンサート
1月12日(金)	佐賀	佐賀銀行	ニューイヤーコンサート
1月13日(土)	福岡	福岡銀行	ニューイヤーコンサート (2公演)
1月15日(月)	北九州	福岡銀行	ニューイヤーコンサート
1月31日(水)	福岡	日本演奏連盟	新進演奏家育成プロジェクト
2月7日(水)	福岡	市立しものせき水族館	海響館CM用録音
2月10日(土)	熊本県水俣	水俣市/水俣市教育委員会	宝くじコンサート
2月11日(日)	熊本県益城	益城町/益城町教育委員会	宝くじコンサート
2月15日(木)	福岡	ひよ子	銘菓ひよ子創生110年記念
2月18日(日)	北九州	北九州市	合唱組曲「北九州」公演
3月2日(土)	宗像	宗像ユリックス	宗像公演
3月31日(日)	添田	添田町	添田町公演

(以上、88公演)

(室内楽公演)

	<開催地>	<主催>	<内容>
2023年			
5月11日(木)	福岡	福岡県中小企業家同友会	創立60周年記念式典
5月21日(日)	北九州	NHK北九州放送局	「NHKのど自慢」
9月9日(土)	福岡	福岡銀行	ふくぎんビルの谷間のコンサート
9月16日(土)	長崎県対馬	対馬市	楽器クリニック
9月16日(土)	長崎県対馬	対馬市	対馬博物館イブニングコンサート
9月30日(土)	福岡	We Love 天神協議	TENJIN SHOWTIM in Autumn(2公演)
10月1日(日)	福岡	We Love 天神協議	TENJIN SHOWTIM in Autumn(2公演)
10月24日(火)	古賀	福岡県市町村振興協会	福岡県立古賀特別支援学校
10月25日(水)	福岡	福岡市	アーティストとであう(今宿小学校)
10月28日(土)	福岡	ふくおか歴史資源活用協議会	能楽殿でクラシック
11月6日(月)	福岡	福岡市	アーティストとであう(三宅小学校)
11月20日(月)	福岡	福岡市	アーティストとであう(筑紫丘小学校)
11月20日(月)	福岡	福岡市	アーティストとであう(若久小学校)
11月20日(月)	田主丸	福岡県市町村振興協会	福岡県立田主松特別支援学校
11月21日(火)	福岡	福岡市	アーティストとであう(片江小学校)
11月21日(火)	福岡	福岡県市町村振興協会	福岡県立福岡聴覚特別支援学校
11月22日(水)	福岡	福岡市	アーティストとであう(塩原小学校)
11月22日(水)	大牟田	福岡県市町村振興協会	大牟田市立大牟田特別支援学校
12月1日(金)	福岡	We Love 天神協議会	クリスマスコンサート(2公演)
12月10日(日)	福岡	We Love 天神協議会	クリスマスコンサート(2公演)
12月11日(月)	福岡	We Love 天神協議会	クリスマスコンサート(2公演)
12月16日(土)	福岡	We Love 天神協議会	クリスマスコンサート(2公演)
12月17日(土)	福岡	We Love 天神協議会	クリスマスコンサート(2公演)
12月17日(土)	沖縄県宮古	NHK沖縄放送局	「NHKのど自慢」
2024年			
1月21日(日)	久留米	久留米市城島総合文化センター	インガットホール
1月28日(日)	福岡	福岡市立城南市民センター	弦楽五重奏コンサート
2月12日(月・祝)	福岡	福岡市	アジア美術館
2月12日(月・祝)	山口県下関	しものせき市立水族館	「海響館」CM撮影
2月26日(月)	福岡	福岡市議会事務局	議場コンサート
3月17日(日)	柳川	福岡県退職教職員協会	柳川みやま支会

(以上、37公演)

【参考】

令和5年度（2023年度）公演回数

	令和4年度 [2022年度] 実績	令和5年度 [2023年度] 計画	令和5年度 [2023年度] 実績	回数増減 (計画比)
定期演奏会	12回	11回	11回	増減なし
巡回演奏会	12回	12回	12回	増減なし
特別演奏会	12回	12回	11回	1回減
移動音楽教室	1回	1回	0回	1回減
依頼演奏会	105回	77回	88回	・依頼演奏会：5回増 ^{※1} ・中学生公演：演減なし ・文化庁公演：6回増 ^{※2}
合計	142回	113回	122回	9公演増

※1 依頼演奏会 … 7回増、2回減

※2 文化庁公演 … 巡回1回増、キャラバン5回増